

つみきのくらし

NO.16

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。

井鳥 佳織

くらしの場をリニューアル

4月1日、保育者たちは、遊びや生活動線、子ども達の興味関心、感じたり経験して欲しい事等を考慮し、子ども達が主体的に遊び、笑顔で暮らす姿を期待しながら新しい環境を整えました。そこで、今回のお便りでは、素敵な環境の一部分をお伝えしたいと思います。

いただいた本物の桜の枝とロフトが融合！見事に開花し、春を身近で感じ続けることができました。

窓辺のロフトは、「のんびり、ゆったり外を眺めながら過ごせたらいいなあ」という保育者の思いがこもっています。

お昼寝タイム。天井を布で低くすることで、落ち着きやすく、安心感が生まれます。

観葉植物の癒し効果は、最強です。子ども達も大切に感じてくれています。

廊下が今年のホットスペース！

廊下という固定概念から解放された素敵な空間。子どもも大人も落ち着ける・大好きなスペースとなっています。

両方の行き止まりは、すみっこぐらしスペース。本能的に落ち着きますね。

【イトリのひとりごと】

『落ち着く』ってよく言うけれど・・・そもそも何だろう？と考えちゃいました。

辞書では『移り動いていた物事が安定した状態なる』が一般的ですが、私たち保育者が言う・使う『落ち着く』は、子どもと大人の心が

- ・穏やかな気持ち
- ・安定・安心した気持ち
- ・遊びに夢中・集中

をイメージします。

心が落ち着くから、その場も雰囲気も落ち着く。

騒々しい場面で、いくら『うるさいよ！』『落ち着きなさい！』表面的に状況を変えようとしても、心が穏やかで安定していないと落ち着かないだろうなあと思います。もちろん、そう口に出している大人も心が乱れているのでしょう。まずは、環境である大人が心を整えて、子ども達の心が整っていく適切な言葉掛けや行動をとることが最善なのだろうと心掛けていこうと思います。